



2019年9月24日

SUPER GT 第7戦菅生、Audi R8 LMS が7位入賞を果たす

- Audi Team Hitotsuyama は予選22位から、驚異的なジャンプアップをみせ7位完走

アウディ ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:フィリップ ノアック)は、Audi R8 LMS で2019年シーズンのSUPER GT GT300クラスに参戦するカスタマー(プライベート)チームをサポートしています。9月21日(土)、9月22日(日)、スポーツランド菅生(宮城県1周3,704m)で2019 SUPER GT 第7戦となる「SUGO GT 300km RACE」が開催されました。

今大会にも新型 Audi R8 LMS を擁する#21 Audi Team Hitotsuyama(アウディ チーム ヒトツヤマ)が、レギュラードライバーのリチャード ライアン選手と富田 竜一郎選手のコンビにて参戦しました。台風17号の影響で、雨が心配される中、天候は曇り、ドライコンディションで公式予選が行われました。

スポーツランド菅生はコース全長が短く幅も狭いため、出走台数の多いGT300クラスの公式予選は、A組とB組の2つに別れてQ1を行い、14台中上位8台がQ2へと進出します。#21 Audi Team HitotsuyamaはB組で、リチャード ライアン選手がアタックに出ましたが、タイヤと気温がマッチせず、B組予選11位、GT300クラス総合では22位という結果となりました。

決勝当日、レース開始の午後2時直前に雨が降り始めました。各チームはこの時点でドライかウェットかタイヤ選択に頭を悩ませていました。レースは安全確認のためセーフティカー先導のもと追い抜き禁止の状態です。3周した後に、競技がスタート。徐々に雨が強まり、スタート時にドライタイヤを選択したマシンは苦戦を強いられる展開となりました。#21 Audi Team Hitotsuyamaは、第1スティントを富田選手が担当。ウェットタイヤを選択した戦略が功を奏し、一気に14位へとジャンプアップ。その後、トップチームにも引けを取らないラップタイムで周回を重ねて前走車をパスし続け、第1スティントを終えるころには6位までポジションをアップしていました。そしてドライバー交代のため富田選手がピットに入ろうとした直前にセーフティカー(SC)が導入される不運に見舞われました(SC導入中のピットインはルールで禁止されている)。SCが解除されたのち第2スティントのリチャード ライアン選手へとドライバー交代。SCによるタイムロスによって8位でコースへと復帰しました。その後、不運が重なり、ピットアウト時に他車との接触があったことによるピットスルーペナルティが課され、11位にまで順位を落としてしまいました。しかし、リチャード ライアン選手はここで諦めることなく猛追をみせ、7位でゴール。今年ベストとなる結果で入賞を果たしました。

Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「予選は想定していたよりも気温が低く、タイヤがうまく温まらずQ1を突破することができませんでした。しかし、翌日は雨の予報でしたし、R8はウェットコンディションを得意としていますので、気持ちを切りかえて決勝にのぞみました。期待どおりスタート直前に雨が降り出し、チームはレインタイヤでのスタートを決めました。戦略的にもベストな選択だったと思います。レース中盤、6位までポジションをあげていました。雨が強くなってきたこともあり、波乱がおきてSCが入る前にピットインをすませようと富田選手を無線で呼び戻しました。その直後にSCが導入され、あとセクター1つ分早ければという状況で、コース上に残ることを余儀なくされました。この時点で見えていた表彰台圏内の可能性はなくなってしまうのですが、今日の富田選手は本当に素晴らしい仕事をしました。一方、リチャード選手もペナルティにより11位まで順位を落としましたが7位まで挽回、今年の最高位でレースを終えることができました。次は最終戦のもてぎですが、表彰台を目指していきたいと思います」

Audi Team Hitotsuyama リチャード ライアン選手のコメント

「今週の菅生は気温が低くタイヤがマッチせず、予選で結果を残すことができませんでした。一方で決勝のウェットコンディションは、われわれにとって有利な状況でした。チームは適切なタイヤの選択、富田選手はすばらしいスタートで、いい走りをしました。ドライバー交代直前でSCが入ってしまったのは非常に不運でしたし、ペナルティも受けてしまい一時は 11 位にまで順位を落としてしまいましたが、再び 7 位まで追いつけることができ、久しぶりにレースを楽しむことができました。チームにとってもエキサイティングな日になったと思います。次のもてぎはAudi R8 の得意なブレーキングコースです。表彰台を狙ってプッシュし続けていきます」

Audi Team Hitotsuyama 富田 竜一郎選手のコメント

「今日のレースを振り返っての一番重要なポイントは、レース直前にウェットタイヤでいこうと、リチャード選手とエンジニアと相談の上で決めたことでした。ウェット路面でのパフォーマンスが高いことはわかっていたので、スタート直後の周回で大きく順位をあげることができました。あとはクルマを信じて、コンディションを冷静に把握しながら、セカンドスティントのリチャード選手に 1 つでもいいポジションでつなごうと 1 台 1 台オーバーテイクしていった結果、いいスティントになりました。また、個人的にも今日のレースは非常に楽しむことができました。最終戦は万全の状態、表彰台を目指してファンや応援してくださる皆様に、いいレースをお見せできるよう頑張りたいと思います」

アウディ ジャパンは Audi Sport customer racing パーツトレーラーを現地に配備して、SUPER GT に参戦するチームを支援しています。専用のトレーラーにボディ、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、約 10,000 点もの部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるようチームと共に全国のサーキットを転戦します。SUPER GT ならびにスーパー耐久シリーズへの参戦チームのサポートを通じて、アウディのサブブランドである Audi Sport のブランド認知向上、イメージ強化を図ります。

今シーズン最終戦となる SUPER GT 第 8 戦は、11 月 2 日（土）～3 日（日）、栃木県のツインリンクもてぎにて開催予定です。